

平成30年度 第6回政策推進会議報告

日 時 7月3日 13時30分～13時58分

場 所 4-1会議室

出席者 22人

1 第4期尼崎市次世代育成支援対策推進行動計画及び第2期尼崎市子ども・子育て支援事業計画の策定等に係る「基本情報」及び「政策形成プロセス計画書」の公表について

こども青少年本部事務局長から資料に基づき報告。(以下、質疑等)

- ・利用者負担の検討についての政策形成プロセス計画書で、31年度4月にステップ3のパブリックコメントを行うとしているが、30年度3月の中間答申が出るまでの過程の中で、途中経過を何らかの形で市民の方々に公表するような考えはあるか。

どこまでの整理ができるかはわからないが、当然、国の考え方や尼崎市の実態等を踏まえながら、関係団体等との色々な話し合いや意見交換はしていきたいと考えている。また、庁内の関係課と内部調整をしていく必要があると思うので、情報の発信・共有をさせていただく。

(市長) 国の幼児教育・保育の無償化という新しい動きに伴って、それぞれの自治体がどのような選択をするのか、また、尼崎市固有の事象やそれを受けて何を優先していくのかというようなことは、情報共有のプロセスが必要だろう。

今回、国は認可外の保育施設も無償化の対象にするという打ち出しをしようとしている。したがって、その辺がどういう風に影響するかということも含めて、利用者負担をどのようにしていくか協議・検討していきたい。

(市長) 関心を持つ人も多いところなので丁寧に取り組む必要があるし、やっていることが見える化されているほうがいいと思う。例えば、空調整備と中学校給食のどちらを優先するかという問題については、キャラバンをプログラムとして実施し意見交換を重ねたことで、空調整備を優先するという結果についてそこまで大きな反論はなかったし、給食をやってほしい派の人もある意味では待ってくれたという感じがする。今回の保育の問題についても、検討過程の見える化は意識するというところで進めていけたらと思う。

2 その他

ひと咲きまち咲き担当局長から、みんなのサマーセミナー2018について説明。

(市長) 普段だったら聞きに行かないような講座を聞いてみるということもサマーセミナーの楽しみ方・魅力のひとつなので、聴講ボランティアも含めて職員にも積極的に参加していただきたい。

ひと咲きまち咲き担当局長から、「築城400年尼崎城できまんねん(年)イベント」事業スケジュール(7、8月分)について説明。

消防局長から、尼崎市救急受診ガイドについて説明。

教育委員会事務局長から、教育施策等の情報発信について説明。(以下、質疑等)

(市長)「生涯学習・社会教育」の項目の中で、「生涯学習のご案内」と「社会教育のご案内」とに分かれているのはなぜか。

現状のホームページをそのような分け方で作っている。「生涯学習のご案内」のページには「特別支援ボランティア講座」や「生涯学習フェアに関すること」などがあり、「社会教育のご案内」のページには「社会教育委員会議に関すること」と「社会教育関係団体の登録」がある。

(市長)分けるなら明確なビジョンに基づいているべきだが、私は分けないほうが良いと思う。タイトルは「生涯学習・社会教育」のまま、その下は一括にしたほうが良いだろう。

以上